

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 学習支援活動】

東大寺寺子屋ボランティア 活動報告書

奈良教育大学 研究員 吉川俊美

1. 日時 平成 30 年 8 月 24 日（金）～26 日（日）2泊3日
2. 場所 華嚴宗大本山東大寺境内（大仏殿、二月堂、二月堂北参籠所および北茶所、
奈良親子レスパイトハウス、知足院ほか）
3. 参加者 佐野宏一朗（大学院生）
森本珠美怜、板口咲希、藤井愛華、義根惇司、北 将伍、足立繁郁、西田朱音（学部生）
本学職員：中澤静男、吉川俊美
近畿 ESD コンソーシアム現職教員等：新宮済（平城小学校）、植松考祐（登美ヶ丘北中学校）

4. 活動支援内容

近畿 ESD コンソーシアム構成団体である華嚴宗大本山東大寺主催による東大寺寺子屋（読売新聞社共催、奈良県・市教育委員会後援）に、本学から 8 名の学生が運営およびグループ活動のサポーターとして参加協力した。今年で 5 回目となる東大寺寺子屋には、これまで 4 年連続参加要請を受け、「世界遺産のお寺で、気づく、学ぶ、考える」をテーマとした生きる力の育成につながる学習体験活動の機会を得ている。

東大寺寺子屋の参加対象は奈良県内在住の小学 5 年生～中学 3 年生で、定員 20 名である。5 名ずつの 4 グループに分かれ、東大寺若手僧侶がリーダーとなり、参加学生は 2 泊 3 日の寺子屋活動のサポートにあたる。

主な活動内容として、「蓮のランタン作り」、それを灯しながら夜の境内散策および大仏殿参拝（1 日目）。早朝 5 時 30 分起床後、屋参籠体験、境内フィールドワーク、知足院での座禅・瞑想および抹茶タイム（2 日目）。一文字書道およびグループ発表（3 日目）。身の回りの整理整頓、清掃、食事の準備・後片付け等をグループで協力し合う体験活動である。食事はすべて精進料理であり、夜は蚊帳をつつて就寝するなど、普段の生活との相違に戸惑う子どもたちも、最終的には自然の風、虫の音、悠久の時間の流れを感じ取る適応力を発揮することになる。敷居を踏まない、履物をそろえる、お経を大切に扱う、背筋を伸ばして正座するなど、普段の日常生活ではあまり意識されない礼儀作法が、見よう見まねにより自然な立ち居振る舞いとなってくる。生活様式の変容に伴い、日本人のライフスタイルの激変に改めて気づくとともに、修養の場としての環境の中で意識し実践することで、大切に守るべき日本人の姿・心を受け継ぐ心情が育つと知った。

寺子屋活動の拠点となる二月堂および参籠所において、1260 余年間一度も途絶えていない修二会が営まれている。まさしく持続可能な社会・文化・伝統の聖地と言える。それを受け継ぎ守り続ける東大寺僧侶との共同生活は、このうえなく深遠で永続的な学びを得る有難い貴重な体験となった。

日進月歩の勢いで物質文明は発展していると言えるが、それに伴い精神文化はどうだろうか？利便性や快適さを求めて技術革新競争がますます激化する今日、ふと立ち止まり、これまで受け継がれてきた人類の叡智に帰依することも大切ではないかと思った。東大寺二月堂では、天下泰平、万民豊楽をただ祈願するだけでなく、不退の行法を守り続ける確固たる信念に深く感銘を受けた。持続可能な開発目標（SDGs）にある

「すべての人に健康と福祉を」「平和と公平をすべての人に」を実現し、地球上の誰一人として取り残さないより良き社会づくりを目指したいと強く思った。そのためには「持続可能な社会の担い手」、日本そして世界の将来を担う子どもたちにとって自らが良き手本となれるよう、日々精進し続ける気概の必要性を深く感

じた。

5. アンケート結果から (資料)

【参加者した子どもたちから：寺子屋に関して、感想や気づいたこと、要望等？】

お経を読んでいる時とても落ち着いた／新しい友達とたくさん協力ができ、たくさん喋って仲良くなれてうれしかった／たくさん活動を通して班の人との仲も理解も深まった／すごくすごくよかったです。普段しないことをできて寺子屋楽しかったです。弟にも行かせようと思いました／初めてやったことや普段は入れないところに行ってとても楽しかった。大学生やお坊さんが面白くてとても楽しかった／大学生の皆さんが面白かったしごはんが美味しかった／本当は入れないところに入れたり、沢山友達ができたり東大寺のことをいっぱい分かった。

【保護者から：東大寺寺子屋にお子様の参加申し込みをされた決め手、理由。東大寺にどんなことを期待されますか？】

世界遺産の中での宿泊体験、家庭では絶対に体験できない経験をさせていただけるところ。テーマの通り、日本人である自分・奈良に住んでいる自分の存在や環境に気づき、学んで考える機会になればと期待します／奈良に生まれ育った子供にとって、東大寺での宿泊体験、様々な体験は一生の大切な宝物になると考え申込をさせていただきました。静かな環境の中、自分を見つめなおすきっかけになればと思います／規則正しい生活を色んな年代の人たちと触れ合いながら便利過ぎない暮らしの在り方を知ってもらい、普段と違う生活・体験を味わってみたいと思います／奈良の文化に触れて学ぶいい機会だと思ったから。普段あまり接することのないお寺での生活の中で自ら深く考えて行動できるようになってほしい。寝食を共にすることで良い友人を作ってほしい／日本古来の文化、伝統を体感できること。日常の暮らしからかけ離れることにより物の豊かさを感じる事